

しつごしょう

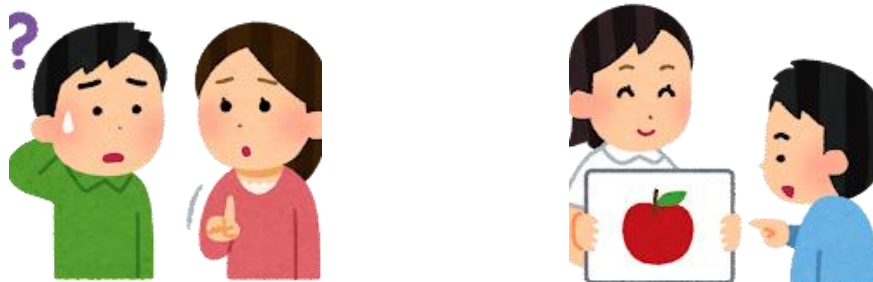
失語症とは 前編

リハビリお役立ち講座
～コミュニケーション障害～

今回は、“失語症”について、お役立ち情報をお伝えしたいと思います。

人間にとって言語は社会生活を営む上で最も大切なコミュニケーション方法です。もし、その言語がうまく使えなくなってしまうたら、それは人間としてそれまで営んできた生活を脅かす可能性があるといっても過言ではないと思います。

ことばをすでに獲得し、自由に使用していたのがある日突然、何らかの脳損傷、例えば脳血管障害(出血、血栓、梗塞、クモ膜下出血など)、脳腫瘍、脳外傷などの結果、脳の言語機能の中枢(言語野)が損傷されることにより、言語の機能(「聞く」「話す」といった音声に関わる機能、「読む」「書く」といった文字に関わる機能、計算)が全体として低下し、言葉を聞き、話し、読み、書き、計算する全ての側面が大なり小なり障害されるのです。このような状態からコミュニケーションが困難となってしまうのが“失語症”という症状です。



失語症は、精神病でも認知機能の低下でもありません。失語症の方とかかわる時に気をつけることは、病前と同じく接することがなによりも一番大切です。会話は焦らず、落ち着いた雰囲気できゅっくりとはっきり、短い言葉で話すよう心掛け、急に話題を変えない。「はい」「いいえ」で答えられる質問にし、絵や写真を話に取り入れ、身ぶり手ぶりや表情、声の調子などから言いたいことを推察します。

言語聴覚士
平村 敬寛



コミ白リハビリ
キャラクター
スピオ